

受講プラン

メインコース全日程の参加が原則ですが、次のいずれかの条件を満たしている方は講義期間を免除し、計画立案実習期間からの参加が可能です。

- ・国際保健集中講座*に参加し、修了書を授与された方
- ・国際保健基礎講座**を過去に8回以上受講し、修了書を授与された方

*国際保健医療協力集中講座（年2回開催）：

<夏> 2015年7月18日（土）～20日（月・祝）

<春> 2016年3月19日（土）～21日（月・祝）

**国際保健基礎講座：毎月第4土曜日、年12回開催。

各講座の詳細は NCGM 国際医療協力局のホームページをご参照ください。

メインコース 全日程 14日間	オプション1 集中講座+ 11日間	オプション2 基礎講座+ 11日間
講義	集中講座 7/18-20 または 3/19-21	国際保健医療 基礎講座 毎月1回開催 8回以上参加
計画立案 実習	計画立案 実習	計画立案 実習
フィールド 研修 + まとめ	フィールド 研修 + まとめ	フィールド 研修 + まとめ

- ・講義のみ、あるいは講義+実習のみの参加も可能です。
- ・各オプションの参加費用については別途お問い合わせください。

応募資格

- [ア] 今後国際協力を携わる事を希望する者。または国際協力等の経験を有する者で今後も国際協力を携わる事を希望する者。
- [イ] 社会における実務経験が概ね2年以上である者。
- [ウ] 心身共に健康である者。
- [エ] 高校卒業程度の英語力を有する者。
- [オ] 年齢が20歳以上であること。
- [カ] 上記[ア]～[オ]の条件を満たし、研修の全日程に参加可能な者。

*応募者数が定員に達した場合には、上記基準により、研修事務局にて参加者の選考を行います。

*フィールド研修中は、ベトナム語と日本語の通訳が同行しますが、訪問施設先で英語での討論を行う場合があるため、日常会話程度の英語力を望ましい語学レベルとしています。

応募申込

次の書類を国立国際医療研究センター国際医療協力局研修課宛てにお送りください。

応募書類は NCGM 国際医療協力局ホームページ「イベント情報」からダウンロードできます。

<http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

締切：2015年7月23日（木）24時 必着

郵送の場合は、2015年7月22日（水）消印有効

応募書類

- [ア] 応募申込書 [様式1]
- [イ] 履歴書 [様式2]
- [ウ] 健康診断書 [様式3]
- [エ] 応募の理由・動機・応募に至る経緯 [様式4]

*健康診断書は、計画立案実習開始前までの提出でも可。

書類送付先

郵送： 〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

国立国際医療研究センター

国際医療協力局 研修課

Email: kensyuka@it.ncgm.go.jp

受講者の決定

書類選考により決定し、書面にて本人宛てに通知します。

修了証書の授与

参加方法に応じて修了証書を発行します。

- a) 全日程参加者：以下の参加率をすべて満たした者
 - 講義 → 全講義時間の90%以上に参加
 - 計画立案実習 → 全実習時間の90%以上に参加
 - フィールド研修 → 全日程に参加
- b) 講義のみの参加者：全講義時間の90%以上に参加者
- c) 受講プランのオプション1・2の参加者：フィールド研修全日程に参加

その他

今年度は当センター内の宿泊施設はご利用いただけません。

研修事務局

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

国際医療協力局 研修課

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

TEL: 03-3202-7181 (内線) 2704

E-mail: kensyuka@it.ncgm.go.jp

担当(田鍋)



2015 国際保健医療協力研修

明日のグローバル保健医療人材をつくる

募集要項

豊富な活動フィールドを持つ NCGM ならではの国際保健医療協力研修



国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、日本を代表する国際協力の拠点として、開発途上国の医療や保健衛生の向上を図るため、世界保健機関（WHO）、外務省、国際協力機構（JICA）および国立病院機構などと連携して技術支援や途上国からの研修員の受け入れなどを行っています。

これまでにアジア・アフリカ・中南米の国々で様々な技術協力プロジェクトを展開し、現在は 15 のプロジェクトが進行中です。また、開発途上国から多くの研修員を受け入れており、その数は約 130 カ国、延べ 2500 名に上ります。

昨今のテロに代表される国際不安の中、“Human Security”（人間の安全保障）という新しい概念が世界の共通認識となりつつありますが、これを達成するためには、国々の、特に開発途上国の人々の健康の保持増進が最も重要であり、その意味でも改めて国際保健医療協力の重要性が叫ばれています。

NCGM 国際医療協力局は、健康格差のない世界を目指して今後も積極的に国際協力活動を展開してまいります。そのためにも、若い世代の人材育成がより一層期待されています。



国際保健医療協力を多角的に学ぶ 充実のコース内容

NCGM では、国際保健医療協力を担う日本人の人材を養成するためのより実践的な研修として「国際保健医療協力研修」を実施しています。専門家による「講義」と、問題解決方法に関連した手法を学ぶ「計画立案実習」とフィールド実習で国際協力の現場を体験する「フィールド研修」の 3 部構成によって国際保健医療協力を多角的に学べるコースです。「講義」で国際保健医療協力の基礎知識を習得するとともに、「計画立案実習」、「フィールド研修」で体験的に実践力を養い、グローバル保健医療人材を育成します。

到達目標

1. 国際保健医療協力に必要な基礎的な知識および関連する手法を習得する。
2. 国際医療協力活動に携わっていくために、今後自身がどのような取り組みが必要か、本研修を通じイメージすることができる。

3 部構成の研修コース

講義

国内での講義およびグループ実習
途上国援助と国際保健医療協力に関する基礎的な知識を学びます。

計画立案実習

国内での講義と演習
問題解決を戦略的にアプローチする PCM 手法（Project Cycle Management）を学び、フィールド実習の準備を行います。

フィールド研修

海外でのフィールド実習
海外でのフィールド実習を通して講義で学んだ知識をもとに現場で求められる様々な課題に実践的に取り組みます。



国際保健医療分野での活躍を希望する 参加者を募集します

国際保健医療協力研修は、2010 年に新設され、今年度で 6 回目を迎えます。日本国内での講義、計画立案実習、海外でのフィールド研修の 3 部構成による 2 週間のプログラムで、国際的に活動フィールドを持つ NCGM のネットワークを十分に活かした内容となっています。同行する複数の専門家によるサポート体制も整っており、海外が初めてという方にも安心してご参加いただけます。

国際保健医療の分野で活躍を希望される参加者を募集いたします。詳細・応募申込方法は、NCGM 国際医療協力局のホームページでもご案内しています。

<http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

研修期間

2015 年 9 月 15 日（火）～ 28 日（月）[14 日間]
 講義： 9 月 15 日（火）～ 17 日（木）
 計画立案実習： 9 月 18 日（金）～ 19 日（土）
 フィールド研修： 9 月 20 日（月）～ 27 日（日）
 まとめ： 9 月 28 日（月）

場所

講義 / 計画立案実習： 国立国際医療研究センター
 研修センター 4 階
 フィールド研修： ベトナム社会主義共和国（予定）

募集人数

20 名程度

参加費

約 25 万円*（税込）旅費、宿泊費、教材費および諸経費
 *研修中の食費等の生活関連費は別途自己負担となります。

日程表

9 月 15 日（火）	講	開講式、オリエンテーション 国際保健医療協力概論 / 災害と公衆衛生危機 / 国際保健活動を推進する機関 / 社会的企業・BOP/プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション
9 月 16 日（水）	講	保健システム概論 母子保健概論 社会的調査法（量的調査）
9 月 17 日（木）	講	疾病対策概論 社会的調査法（質的調査）
9 月 18 日（金）	実	ベトナムの保健事情 問題解決手法
9 月 19 日（土）	実	問題解決手法 フィールド研修準備（グループワーク）
9 月 20 日（日）	フ	ベトナムへ出発 成田空港集合 → ハノイ着
9 月 21 日（月）	フ	バックマイ病院訪問（ハノイ） ホアビン省へ移動 保健局（省病院）訪問
9 月 22 日（火）	フ	（ダバック）郡病院訪問 （カオソン）コミュニオンへ移動
9 月 23 日（水） 9 月 24 日（木）	フ	ホアビン省総合病院にて グループワーク
9 月 25 日（金）	フ	ホアビン省総合病院にて報告会 → ハノイへ移動
9 月 26 日（土）	フ	自由行動 → 空港へ移動 帰国へ
9 月 27 日（日）	フ	成田着 解散
9 月 28 日（月）	フ	まとめ、修了式

講 講義 実 計画立案実習 フ フィールド研修

日程と内容は変更になる場合があります。